

資料編

- (1) 職員名簿
- (2) センター利用者数（展示館入館者数、環境学習講座・イベント等参加者を含む）
- (3) 年度別利用者の内訳
- (4) 情報アクセス数（ホームページアクセス数）
- (5) センター報掲載研究活動報告一覧
- (6) 令和6年度環境科学国際センター実績等の概要

(1) 職員名簿(令和6年4月1日現在)

所属／職名	氏 名	所属／職名	氏 名
総長(非常勤)	植 松 光 夫	○大気環境担当	
センター長(兼) 事務局 長	酒 井 辰 夫	担 当 部 長	佐 坂 公 規
		担 当 部 長	松 本 公 利
		主 任 研 究 員	長谷川 就 一
		主 任	市 川 有 二 郎
		主 任	村 田 浩 太 郎
◎事務局		○自然環境担当	
○総務・学習・情報担当		担当部長(兼)	
担 当 部 長	山 崎 和 美	生物多様性保全担当	王 効 拳
担 当 課 長	黒 木 絵 美	担 当 部 長	
担 当 課 長	内 野 繪 美	担当部長(兼)	
主 任	岩 崎 伸 弘	生物多様性保全担当	米 倉 哲 志
主 任 専 門 員	妹 尾 弘 成	担 当 部 長	
専 門 員	小 野 和 義	専門研究員(兼)	
専 門 員	矢 嶋 勇 明	生物多様性保全担当	角 田 裕 志
嘱託(会計年度)	小 宮 川 武 明	担 当 課 長	
嘱託(会計年度)	泉 谷 か を り	主 任 (兼)	
嘱託(会計年度)	小 林 公 江	生物多様性保全担当	安 野 翔
		主 任	
◎研究所		○資源循環・廃棄物担当	
研 究 所 長	今 井 章 雄	担 当 部 長	長 森 正 尚
		担 当 部 長	川 森 幹 生
○研究企画室		担 当 部 長	長 谷 隆 仁
室 長	八 戸 昭 一	主 任 研 究 員	鈴 谷 木 和 友
担 当 部 長	大 澤 千 恵 子	主 任 研 究 員	
主 任 専 門 員	横 塚 敏 之 大		
主 事	新 井 健 大 子		
嘱託(会計年度)	五 島 朋 裕 美		
嘱託(会計年度)	大 熊 裕 美		
		○化学物質・環境放射能担当	
○生物多様性保全担当		担 当 部 長	蓑 毛 康 太 郎
担 当 課 長	伊 東 奈 緒 美	主 任 研 究 員	堀 井 勇 一
主 任	岡 本 慎 吾	専 門 研 究 員	竹 峰 秀 祐
		主 任 専 門 員	渡 辺 洋 祐 一
		主 任	落 合 祐 介
		技 師	北 島 卓 磨
		嘱託(会計年度)	今 谷 泉 実 希
		嘱託(会計年度)	
○研究推進室		○水環境担当	
室 長	茂 木 守 誠	担 当 部 長	田 中 仁 志
副室長(兼)	三 輪 誠	担 当 部 長	木 中 持 謙
研究企画室副室長		主 任 研 究 員	池 田 弘 志
副 室 長	米 持 真 一	主 任 研 究 員	見 島 和 伊
副 室 長	大 塚 宜 寿 代	専 門 研 究 員	渡 邊 圭 司
嘱託(会計年度)	秋 山 美 智 由 美		
嘱託(会計年度)	加 藤 真 由 美		
嘱託(会計年度)	宮 崎 実 穂 織		
嘱託(会計年度)	佐 藤 沙 織 恵		
嘱託(会計年度)	桑 久 保 理 恵		
嘱託(会計年度)	小 林 与 恵		
	(令和6年9月1日採用)	○土壌・地下水・地盤担当	
○温暖化対策担当		担 当 部 長	石 山 高
担 当 部 長	武 藤 洋 介	主 任 研 究 員	濱 元 栄
担 当 部 長	嶋 田 知 英	主 任 研 究 員	柿 本 貴
主 任	大 和 広 明	主 任	高 志 里
技 師	河 野 な つ 美		
技 師	山 上 晃 央		

(2) センター利用者数(展示館入館者数、環境学習講座・イベント等参加者を含む)

(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
平成													
12年度	18,599	5,775	5,320	5,381	6,625	4,048	6,770	7,202	1,768	1,477	2,773	2,828	68,566
13年度	3,570	5,655	4,862	3,999	6,021	3,752	5,790	5,022	1,675	1,568	2,582	2,476	46,972
14年度	2,754	4,452	4,469	3,024	6,681	3,992	6,067	5,902	1,838	1,555	2,616	2,556	45,906
15年度	2,571	4,483	4,125	4,270	5,854	4,330	6,772	7,709	2,478	1,774	2,252	1,598	48,216
16年度	2,746	5,367	4,319	4,325	5,062	4,280	5,128	4,784	3,426	2,225	2,374	2,378	46,414
17年度	2,379	4,969	5,487	3,699	5,634	4,485	5,285	4,911	2,542	2,064	1,747	2,429	45,631
18年度	2,555	5,408	4,099	3,663	5,315	4,566	5,079	5,770	3,884	2,403	2,916	3,772	49,430
19年度	3,202	7,515	5,065	4,135	4,839	4,881	7,122	7,746	2,399	2,593	1,656	2,122	53,275
20年度	2,808	8,116	4,394	4,464	4,441	5,060	6,040	7,431	2,133	1,951	1,862	2,622	51,322
21年度	2,131	5,411	4,482	3,236	3,201	3,899	4,562	4,873	2,883	1,837	1,771	1,505	39,791
22年度	1,641	7,522	4,033	3,394	3,548	3,459	5,451	5,896	2,374	1,775	1,513	802	41,408
23年度	1,887	4,405	3,650	3,616	5,110	3,388	5,372	7,008	2,635	2,738	1,434	1,365	42,608
24年度	3,126	4,458	3,294	2,912	6,036	4,456	4,782	7,620	2,148	1,833	1,857	1,558	44,080
25年度	3,324	4,344	4,659	2,737	6,377	2,655	5,031	8,388	2,959	2,371	1,477	1,995	46,317
26年度	3,001	5,302	5,461	3,826	5,096	3,741	3,791	6,627	2,367	2,912	2,274	1,898	46,296
27年度	3,467	5,042	5,013	3,473	4,612	4,105	4,440	6,463	2,215	2,126	2,537	2,017	45,510
28年度	2,796	4,947	3,985	3,291	5,835	4,100	3,845	6,124	2,721	2,354	2,162	3,163	45,323
29年度	2,959	4,437	3,794	3,310	5,856	3,410	5,078	8,894	4,683	1,917	2,515	3,187	50,040
30年度	4,194	6,247	5,270	3,316	7,094	2,874	5,621	8,223	2,752	1,808	3,121	2,821	53,341
令和													
元年度	3,124	4,057	2,992	5,281	5,336	2,931	8,474	9,862	2,939	703	855	0	46,554
2年度	3	0	384	3,214	4,069	3,474	2,552	4,787	909	54	101	484	20,031
3年度	1,186	1,520	2,542	2,543	5,135	1,745	4,205	3,973	3,307	2,013	1,596	2,028	31,793
4年度	1,461	2,421	3,218	3,704	3,694	3,603	8,539	6,597	2,776	1,791	3,138	1,933	42,875
5年度	1,557	2,801	2,778	2,388	3,469	9,872	3,848	6,818	3,671	3,071	3,250	1,920	45,443
6年度	1,910	3,631	3,271	3,873	4,572	5,421	11,736	7,911	3,205	2,830	3,912	1,658	53,930
累計													1,151,072

(3) 年度別利用者の内訳

(単位：人)

年度	一般（有料）	学生・生徒（高校生以上有料）	無料※
平成			
12 年度	19,207	522	48,837
13 年度	13,090	331	33,551
14 年度	9,241	377	36,288
15 年度	7,861	258	40,097
16 年度	7,369	267	38,778
17 年度	6,559	334	38,738
18 年度	5,994	129	43,307
19 年度	5,670	195	47,410
20 年度	5,508	169	45,645
21 年度	4,216	98	35,477
22 年度	3,595	90	37,723
23 年度	3,542	66	39,000
24 年度	3,827	85	40,168
25 年度	3,920	81	42,316
26 年度	3,645	78	42,573
27 年度	3,955	98	41,457
28 年度	4,323	92	40,908
29 年度	3,828	63	46,149
30 年度	4,484	87	48,770
令和			
元年度	3,618	121	42,815
2 年度	955	31	19,045
3 年度	3,438	75	28,280
4 年度	3,597	87	39,191
5 年度	3,544	65	41,834
6 年度	3,897	166	49,867

※ 無料は、中学生以下の来館者、障がいのある方（付添含む）、イベントや出前講座の一般参加者、無料施設（生態園・学習プラザ）の一般の来館者などである。

(4) 情報アクセス数(ホームページアクセス数)

(単位:ページ)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
平成													
12年度	2,120	2,482	3,633	1,258	1,029	921	1,907	1,257	1,458	1,747	2,004	1,836	21,652
13年度	1,667	2,208	2,642	2,779	2,587	1,999	2,449	2,998	3,092	2,557	2,325	2,230	29,533
14年度	2,471	2,549	3,224	5,205	5,791	4,408	3,311	3,328	2,989	4,147	4,520	5,264	47,207
15年度	3,035	4,615	4,310	3,828	7,021	5,682	6,493	10,063	7,228	6,442	7,112	8,282	74,111
16年度	4,074	3,682	5,005	7,217	6,704	3,832	4,606	4,568	3,821	4,242	4,641	3,659	56,051
17年度	4,192	4,505	5,580	5,131	5,671	4,782	3,595	3,969	3,198	3,378	3,268	2,568	49,837
18年度	2,558	3,122	4,242	4,141	5,323	3,455	3,710	4,084	4,145	5,130	7,114	5,745	52,769
19年度	4,253	5,816	5,675	5,161	5,725	4,577	5,603	5,428	4,387	5,164	5,559	4,335	61,683
20年度	4,622	6,235	6,919	6,476	6,223	5,144	5,222	4,785	4,276	4,568	5,059	4,534	64,063
21年度	5,149	5,962	6,450	5,717	5,415	4,609	4,729	4,536	4,162	4,513	4,603	4,929	60,774
22年度	6,608	7,950	8,132	8,654	7,412	5,812	7,081	6,959	5,959	5,592	5,790	7,406	83,355
23年度	8,728	11,577	12,067	14,187	12,038	8,454	8,453	10,332	6,843	6,712	6,350	6,574	112,315
24年度	11,016	11,036	12,860	10,125	11,754	8,400	9,369	22,195	6,720	8004	7,330	8,916	127,725
25年度	14,531	13,861	13,268	12,892	13,130	9,277	9,777	12,831	6,616	10,233	8,383	9,336	134,135
26年度	14,289	16,570	21,925	16,837	14,702	9,259	10,979	18,011	7,233	6,711	6,156	5,986	148,658
27年度	15,633	12,642	15,296	16,929	12,571	8,344	11,151	17,398	7,809	7,752	7,592	8,139	141,256
28年度	13,531	13,618	12,403	17,072	14,432	10,160	9,587	15,107	6,639	7,209	6,625	6,400	132,783
29年度	11,981	11,956	13,434	15,550	13,721	9,214	8,945	20,054	6,188	9,822	9,455	10,689	141,009
30年度	14,396	14,574	19,157	23,269	21,576	16,156	9,732	15,843	7,403	8,435	9,722	10,685	170,948
令和													
元年度	17,849	11,805	19,406	28,579	18,364	9,763	11,613	14,788	8,113	8,319	7,669	7,180	163,448
2年度	5,062	6,213	14,706	23,274	18,153	9,972	9,777	11,203	6,992	7,524	7,376	9,637	129,889
3年度	13,023	12,709	21,348	29,943	26,206	14,047	10,685	14,234	12,995	10,571	9,212	9,875	184,848
4年度	15,059	17,100	25,594	32,966	23,694	16,594	15,380	18,068	11,080	13,759	14,293	11,281	214,868
5年度	14,972	12,346	15,205	21,751	15,711	16,591	13,270	16,946	10,905	13,533	12,312	9,885	173,427
6年度	24,037	17,261	21,402	36,106	32,190	13,875	11,738	15,478	16,211	13,365	12,151	10,707	224,521

(5) センター報掲載研究活動報告一覧

第1号(平成12年度)

総合報告：有機塩素剤の環境残留状況……………
……昆野信也、斎藤茂雄、杉崎三男、倉田泰人、細野繁雄、渡辺洋一、高橋基之、長森正尚、唐牛聖文
研究報告：騎西・鴻巣地域における秋から初冬期のPM2.5汚染実態……………米持真一、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介
資 料：日本における緑地の大気浄化機能とその経済的評価……………小川和雄、三輪誠、嶋田知英、小川進
資 料：ウインクラ法と隔膜電極法の比較—一般廃棄物最終処分場浸出水等の溶存酸素測定において—……………
……………長谷隆仁

第2号(平成13年度)

総合報告：有機性廃棄物資源化の現状と技術……………河村清史
研究報告：騎西・鴻巣地域における春から夏期を中心としたPM2.5汚染実態……………
……………米持真一、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介
研究報告：鴨川及びその流入水路の水における内分泌かく乱化学物質の濃度とそのエストロゲンリセプター結合能
……………茂木守、細野繁雄、野尻喜好
資 料：生物多様性データベースの現状と埼玉県環境科学国際センターの取り組み……………
……………嶋田知英、小川和雄、三輪誠、長田泰宣

第3号(平成14年度)

総合報告：ファイトレメディエーションによる汚染土壌修復……………王効挙、李法雲、岡崎正規、杉崎三男
研究報告：埼玉県における二酸化炭素濃度の推移……………武藤洋介、梅沢夏実
研究報告：埼玉県におけるダイオキシン類の大気降下挙動に関する研究……………王効挙、野尻喜好、細野繁雄
研究報告：地域地震動特性解析に関する研究……………白石英孝
資 料：不老川における下水処理水還流事業による水質変化と水圏生物相への影響……………
……………長田泰宣、鈴木章、伊田健司、斎藤茂雄、高橋基之、田中仁志、金主鉉、山川徹郎
資 料：キレート樹脂の吸着能の推算……………大塚宜寿、田島尚
資 料：生物を利用した土壌中ダイオキシン類低減化の検討……………蓑毛康太郎、大塚宜寿、茂木守

第4号(平成15年度)

総合報告：埼玉の大気環境……………昆野信也、竹内庸夫、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介、唐牛聖文、米持真一
総合報告：埼玉県的环境中ダイオキシン類……………
……………杉崎三男、野尻喜好、細野繁雄、茂木守、王効挙、大塚宜寿、蓑毛康太郎
研究報告：溜池におけるアオコの現況と毒素Microcystinの消長……………伊田健司、佐藤雄一、川瀬義矩
資 料：廃棄物焼却炉から排出される化学物質の特性……………唐牛聖文、米持真一、竹内庸夫
資 料：底質試料中ダイオキシン類の迅速抽出に関する検討……………細野繁雄、蓑毛康太郎、大塚宜寿
資 料：ダイオキシン類試料の調製における新規活性炭シリカゲルの適用性について……………
……………細野繁雄、大塚宜寿、蓑毛康太郎
資 料：土壌・地下水汚染の調査解析手法の検討—様々な土地情報を利用した汚染発覚時初動調査手法—……………
……………高橋基之、長森正尚、野尻喜好、八戸昭一、佐坂公規、山川徹郎

第5号(平成16年度)

総合報告：埼玉の水環境—公共用水域の水質を中心に—……………
……………長田泰宣、鈴木章、斎藤茂雄、高橋基之、田中仁志、金主鉉、木持謙、石山高
総合報告：埼玉の自然環境……………小川和雄、金澤光、嶋田知英、三輪誠、米倉哲志、アマウリ・アルサテ

研究報告：既存生態系を活用したバイオマニピュレーション手法による汚濁湖沼の水質改善に関する研究……………
 ……………田中仁志、金主鉉、鈴木章、星崎寛人、渡辺真利代、渡邊定元
 研究報告：バイオレメディエーション技術の活用による難分解性有害化学物質汚染土壌の浄化に関する研究……………
 ……………王効挙、杉崎三男、細野繁雄
 資 料：ヒ素の水環境中における存在形態とその挙動……………伊田健司、鈴木章、平野洋一、川瀬義矩
 資 料：模擬埋立地実験による埋立地早期安定化の検討……………川寄幹生、長森正尚、小野雄策
 資 料：模型地盤を用いた電気探査法の環境調査への適用方法に関する研究……………佐坂公規
 重点研究の報告：地質地盤環境の保全と土地の適正利用に関する研究……………
 ……………地質地盤・騒音担当、土壌・地下水汚染対策チーム
 重点研究の報告：地球環境及び地域自然生態系の保全に関する研究……………自然環境担当、大気環境担当、水環境担当

第6号（平成17年度）

総合報告：埼玉の廃棄物管理と研究支援……………
 ……………長森正尚、川寄幹生、長谷隆仁、磯部友護、渡辺洋一、倉田泰人、小野雄策
 総合報告：埼玉の地質地盤環境……………八戸昭一、高橋基之、石山高、佐坂公規、白石英孝、松岡達郎
 資 料：県内河川水中の非イオン界面活性剤ノニルフェノールエトキシレート及びアルコールエトキシレート
 （C12AEs）……………斎藤茂雄、金主鉉、伊田健司、鈴木章
 資 料：GC/NCI-MS法を用いた鴨川河川水、底質試料中のエストロゲンの分析…野尻喜好、茂木守、細野繁雄
 資 料：発生源低騒音化手法の開発……………白石英孝、上原律、戸井武司
 重点研究の報告：廃棄物の燃焼や埋立等に伴う環境汚染とその対策に関する研究…廃棄物管理担当、大気環境担当
 重点研究の報告：ダイオキシン類及び内分泌かく乱化学物質等有害化学物質に関する総合的研究……………
 ……………化学物質担当、廃棄物管理担当、大気環境担当、水環境担当

第7号（平成18年度）

総合報告：環境科学国際センター生態園における生物相の変遷……………嶋田知英、小川和雄、三輪誠、長田泰宣
 資 料：野鳥へい死の原因調査における市販有機リン系農薬検出キットの適用性について……………
 ……………細野繁雄、茂木守、野尻喜好、杉崎三男

第8号（平成19年度）

総合報告：環境科学国際センターの国際貢献・交流活動……………河村清史
 研究報告：埼玉県南部における都市河川底質中の有害汚染物質の特性……………斎藤茂雄、鈴木章、長田泰宣
 資 料：行政の悪臭苦情対応における臭気測定の位置付け……………梅沢夏実
 資 料：模擬埋立地実験による埋立地早期安定化の検討……………川寄幹生、長森正尚、小野雄策

第9号（平成20年度）

総合報告：微動探査法の実用化研究……………松岡達郎
 資 料：臭素系難燃加工剤（ポリブロモジフェニルエーテル）による県内河川底質の汚染実態……………
 ……………細野繁雄、蓑毛康太郎、大塚宜寿、茂木守、杉崎三男

第10号（平成21年度）

総合報告：里川再生テクノロジー事業の取組－「川の国埼玉」の実現に向けて－……………
 ……………高橋基之、田中仁志、木持謙、石山高、亀田豊、見島伊織、池田和弘、柿本貴志

第11号（平成22年度）

研究報告：連続稼働型デニュア開発のための基礎的検討……………
 ……………米持真一、松本利恵、上田和範、名古屋俊士、小山博已

- 資 料：埼玉県における県民参加を主体としたオゾンによるアサガオ被害調査……………三輪誠、小川和雄、嶋田知英
- 資 料：武蔵野台地北部の湧水の水質特性……………高橋基之、田中仁志、石山高、八戸昭一、佐坂公規

第12号（平成23年度）

- 資 料：埼玉県におけるサギ類生息モデルの検討……………嶋田知英
- 資 料：堂平山観測所における二酸化炭素高濃度事例解析について……………武藤洋介
- 資 料：大気中のガス状および粒子状水溶性無機成分濃度の夏期調査……………松本利恵、米持真一、梅沢夏実
- 資 料：絶滅危惧魚類ムサシミヨのミトコンドリアDNAマーカーの作製とその生息地への適用……………三輪誠、金澤光

第13号（平成24年度）

- 資 料：温熱環境指標WBGTの簡易推計と埼玉県をモデルとした熱中症予防のための情報発信手法の検討……………米倉哲志、松本利恵、嶋田知英、増富祐司、米持真一、竹内庸夫
- 資 料：元小山川の環境基準点における河川水中ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)濃度の推移……………茂木守、野尻喜好、細野繁雄、杉崎三男
- 資 料：利根川水系ホルムアルデヒド水質事故における対応の記録……………高橋基之、田中仁志、木持謙、見島伊織、柿本貴志、池田和弘、野尻喜好、茂木守、細野繁雄

第14号（平成25年度）

- 研究報告：ムサシミヨ生息域における河川環境の調査と簡易・効率的な流入汚水対策技術の検討……………木持謙、金澤光、高橋基之、王効挙、柿本貴志
- 資 料：見沼田圃における土地利用の変遷……………嶋田知英
- 資 料：新聞記事データベースに見る「地球温暖化」の定着……………嶋田知英
- 資 料：市民の温暖化適応策に関する意識調査……………嶋田知英
- 資 料：埼玉県に生息する魚類の生息状況について……………金澤光
- 資 料：微動探査法における深度方向指向性に関する研究……………白石英孝

第15号（平成26年度）

- 研究報告：土壌中重金属類の溶出特性解析とそれに基づく土壌汚染の類型化……………石山高、八戸昭一、濱元栄起、白石英孝、細野繁雄、河村清史
- 資 料：埼玉県における大気中p-ジクロロベンゼンの濃度特性……………竹内庸夫、佐坂公規、松本利恵
- 資 料：廃棄物焼却炉から排出される揮発性有機化合物の挙動……………竹内庸夫
- 資 料：埼玉県内の一般廃棄物焼却施設におけるごみ発電による温室効果ガス排出削減効果……………倉田泰人
- 資 料：埼玉県の荒川及び新河岸川の感潮域で発見された特定外来生物イガイ科カワヒバリガイについて……………金澤光
- 資 料：埼玉県に侵入した外来甲殻類ヌマエビ科カワリヌマエビ属の現状について……………金澤光
- 資 料：埼玉県内流域における土地利用の状況……………柿本貴志

第16号（平成27年度）

- 総合報告：山西省水環境保全モデル事業による国際環境協力……………高橋基之、田中仁志、木持謙、見島伊織、池田和弘、柿本貴志、渡邊圭司、王効挙、木幡邦男
- 資 料：植物を用いた土壌修復法の実用化に向けた研究の推進……………王効挙、米持真一、磯部友護、細野繁雄、三輪誠、米倉哲志、金澤光
- 資 料：埼玉県におけるヤツメウナギ科スナヤツメの採集記録と生息環境……………金澤光
- 資 料：フェノール類の酢酸エステルのGC/MS測定における保持指標……………倉田泰人

資 料：野通川における河川水中ネオニコチノイド系殺虫剤濃度の季節変動……………大塚宜寿、蓑毛康太郎、野尻喜好、茂木守、堀井勇一
資 料：埼玉県内で見られた自然由来の河川景観悪化現象……………池田和弘、見島伊織、柿本貴志、高橋基之

第17号（平成28年度）

研究報告：工場内で利用可能なVOC局所対策手法の開発……………米持真一、梅沢夏実、佐坂公規、信太省吾、名古屋俊士、吉野正洋、曾根倫成、土屋徳子
資 料：埼玉県へ1980年代前半に移入された侵略的外来種無脊椎動物リングガイ科スキムリングガイの現況について……………金澤光

第18号（平成29年度）

研究報告：生態圏をモデルとした放射性物質の分布及び移行に関する研究……………山崎俊樹、伊藤武夫、茂木守、米持真一、三輪誠、梅沢夏実、嶋田知英、白石英孝、高瀬冴子、坂田脩、長島典夫、三宅定明
資 料：埼玉県の荒川および中川の汽水域における集魚灯調査で確認された魚類の生態特性……………金澤光
資 料：埼玉県内河川における藻類濃度の実態及び河床勾配との関係……………柿本貴志、池田和弘、見島伊織、渡邊圭司

第19号（平成30年度）

研究報告：埋立廃棄物の組成変化を考慮した最終処分場内部の安定化挙動に関する研究……………磯部友護、川崎幹生、長谷隆仁、鈴木和将
資 料：埼玉県における絶滅危惧植物の分布と減少要因の解析……………三輪誠、嶋田知英
資 料：太陽光発電パネル設置による蒸発量への影響についての研究－発電パネルを模擬した太陽光遮蔽設備による実験－……………長谷隆仁

第20号（令和元年度）

資 料：埼玉県における季節別大気中ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド濃度の観測……………松本利恵

第21号（令和2年度）

総合報告：埼玉県内の水系における放射性セシウムの実態把握……………野村篤朗、伊藤武夫、大塚宜寿、蓑毛康太郎、堀井勇一、竹峰秀祐、渡辺洋一、茂木守、三宅定明、佐藤秀美、竹熊美貴子、長浜善行、加藤沙紀
資 料：GISデータで見た埼玉県土の土地利用変遷と地域特性……………嶋田知英
資 料：埼玉県加須市における湿性沈着の長期観測結果……………松本利恵
資 料：エンジンオイル等の異同識別を目的とした1-ニトロピレンのLC/MS/MS分析……………野尻喜好、柿本貴志

第22号（令和3年度）

研究報告：海成堆積物中黄鉄鉱の酸化分解に影響を及ぼす化学的因子の検討……………石山高、柿本貴志、濱元栄起、白石英孝、渡邊圭司
資 料：微動の複素コヒーレンス関数に含まれる振源係数の応答特性と生成プロセス……………白石英孝、浅沼宏

第23号（令和4年度）

研究報告：埋立地を駐車場として跡地利用した事例におけるアスファルト舗装の浸出水量低減効果……………長谷隆仁
資 料：IoT暑さ指数計の開発と観測精度の検証及び観測結果について……………大和広明、武藤洋介、本城慶多

第24号（令和5年度）

総合報告：ストリッピングボルタンメトリーによる土壤中重金属類のオンサイト分析法の開発……………石山高

資 料：令和6年能登半島地震被災地における避難所運営支援業務と在宅避難者の生活用水確保行動調査……………
……………柿本貴志

第 25 号（令和 6 年度）

資 料：カメラトラップ調査で観察した埼玉県環境科学国際センター生態園の中型哺乳類相……………角田裕志

(6) 令和6年度埼玉県環境科学国際センター実績等の概要

1 総論

所在地： 埼玉県加須市上種足914

開設： 平成12年4月

機能： 「環境科学の共有」を基本理念とし、以下の4つを基本的機能とする。

(1)環境学習

(2)環境に関する試験研究

(3)環境面での国際貢献

(4)環境情報の収集・発信

組織： 総長（非常勤1名）

事務局（センター長兼事務局長、総務・学習・情報担当：11名）

研究所（研究所長、研究企画室、研究推進室：55名）

予算： センター当初予算 280,455千円

令達事業予算 172,403千円

2 環境学習

項目	実績	参照
(1)展示館等のセンター利用者	53,930名（前年度比18.7%増）	167頁
(2)彩の国環境大学	修了者数22名	7～8頁
(3)公開講座	29講座、参加者数2,226名	8～10頁
(4)身近な環境観察局ネットワーク	クビアカツヤカミキリ調査結果報告・説明会、アサガオ被害調査研修会	10頁
(5)研究施設公開	年2回、参加者数471名	10頁
(6)その他の開催イベント	参加者数延べ6,212名	11頁

3 環境情報の収集・発信

項目	実績	参照
(1)ホームページのアクセス	224,521件（前年度比29.5%増）	13頁、170頁
(2)ニュースレターの発行	年4回（63号～66号）	13～14頁
(3)センター講演会	参加者数210名	14頁
(4)環境情報の提供	イベント数11回、参加者数949名	14～18頁
(5)マスコミ報道	新聞報道、広報誌23回 テレビ放映、ラジオ放送8回	18～21頁

4 国際貢献

項目	実績	参照
(1)海外への研究員の派遣	23名	22～24頁
(2)海外からの研修員・研究員の受入れ	16名	24～25頁
(3)訪問者の受入れ	120名	24～25頁
(4)海外研究機関との研究交流協定等の締結	17機関	25～26頁

5 試験研究

項目	実績	参照
試験研究事業		
(1)自主研究	19課題	32～34頁
(2)競争的研究費による研究	25課題	34～39頁
(3)行政令達	38事業	40～43頁

他研究機関との連携		
(1)国内の大学・民間企業等との共同研究・研究協力	47課題	44～48頁
(2)国際共同研究	5課題	49頁
(3)大学との共同研究、研究協力の実施に伴う学生の受入実績	1大学から22名	49～50頁
(4)実習生の受入実績	なし	-
(5)客員研究員の招へい	7機関から7名	50頁
(6)研究審査会の開催	5機関7名に委員委嘱、年2回開催	50頁

学会等における研究発表		
(1)論文	30件	51～53頁
(2)国際学会発表	16件	53～55頁
(3)総説・解説	16件	55～56頁
(4)国内学会発表	115件	56～64頁
(5)その他の研究発表	121件	64～71頁
(6)報告書	5件	71～72頁
(7)書籍	1件	72頁
(8)センター報（第24号）	2件	72頁
研究成果等発表実績合計((1)～(8))	306件	

講師・客員研究員等		
(1)大学非常勤講師	7件、延べ8名	73頁
(2)他研究機関等への客員研究員	11件、10名	73頁
(3)国、地方自治体の委員会等の委員委嘱	68件、21名	73～76頁
(4)研修会・講演会等の講師	145件	76～82頁

表彰等	8件	83～84頁